機関リポジトリ利用のしおり

１．機関リポジトリとはどんなもの

大学や学会などで出版された雑誌や報告書を電子化・蓄積し原文を含めインターネット上で閲覧可能にするシステムです。24 時間どこででもだれでも利用することができます。

国立国会図書館 PORTA、国立情報学研究所 CiNii や Google などからも検索でき、アクセスポイントが多彩です。これらの特徴により情報格差を解消し、埋もれていた貴重な情報が発見できます。このしおりは、機関リポジトリを直接検索する場合をご案内します。

２．検索する

別府大学では、2 系統のリポジトリシステムを公開しています。ログイン ID やパスワードは不要です。以下の URL からお入りください。

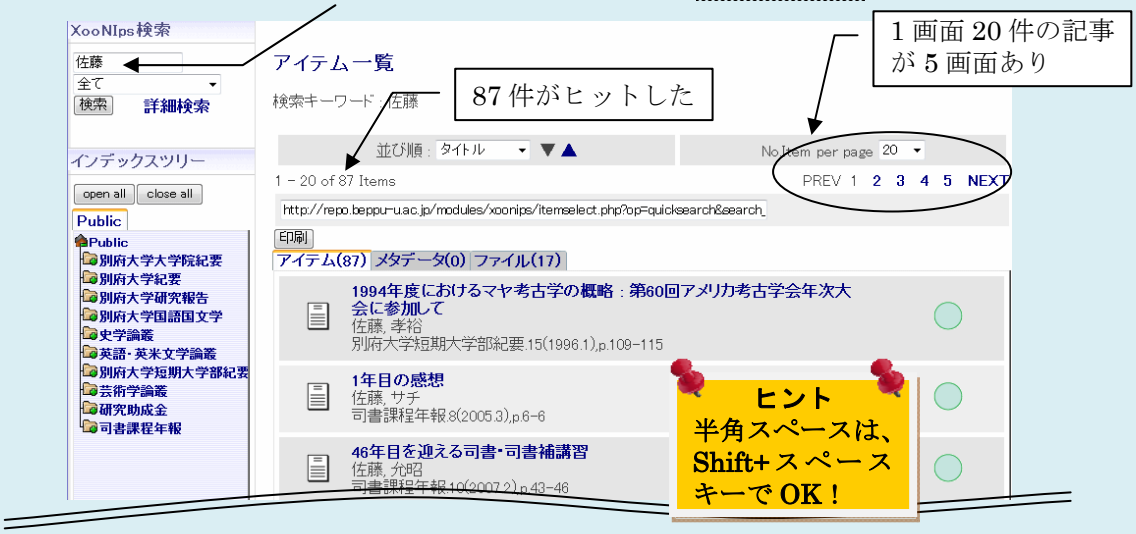
http://repo.beppu-u.ac.jp	← 大学紀要・研究報告類を公開する BUILD サーバ
http://bud.beppu-u.ac.jp	←大分県内の学協会の成果物を公開する BUNGO サーバ

１）機関リポジトリの画面

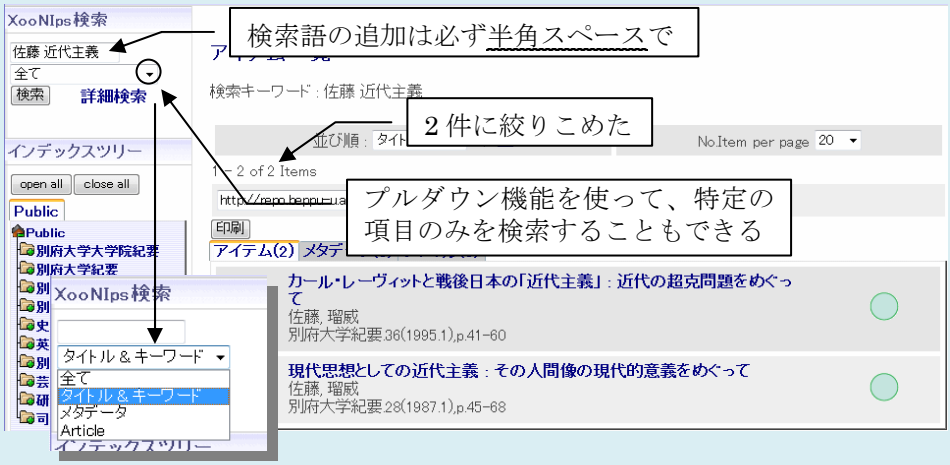
２）必要な資料を検索する

①論題、誌名、著者などのことばで簡易検索する

右上の「検索まど」に検索語を入れる。（姓と名の間は半角スペースで）

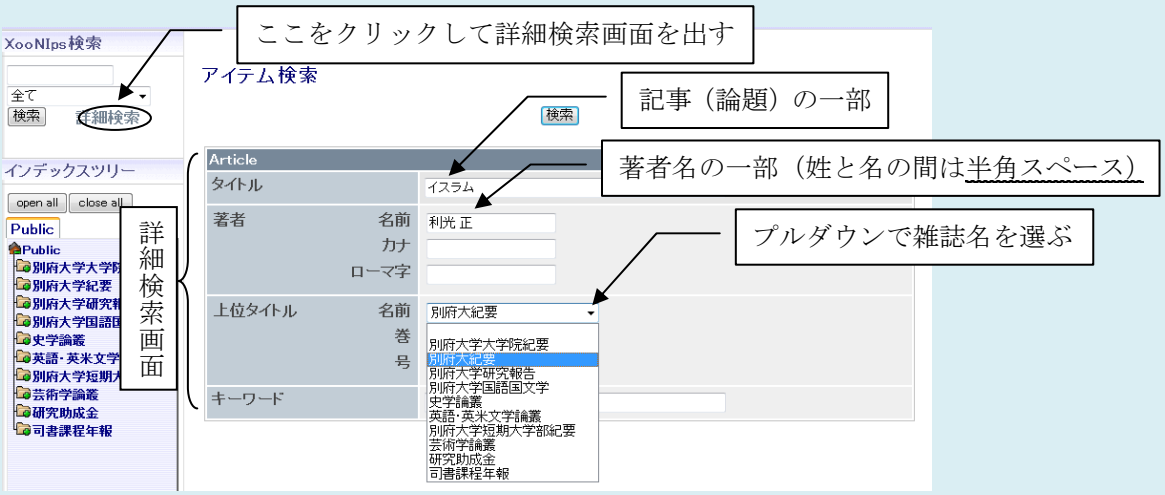


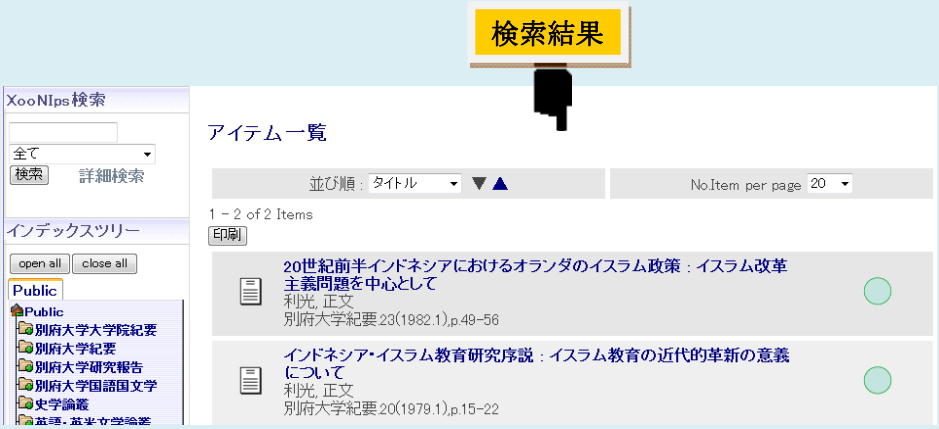
さらに、記事の一部の「ことば」を追加して検索を絞ってみる。



②詳細に検索してみる

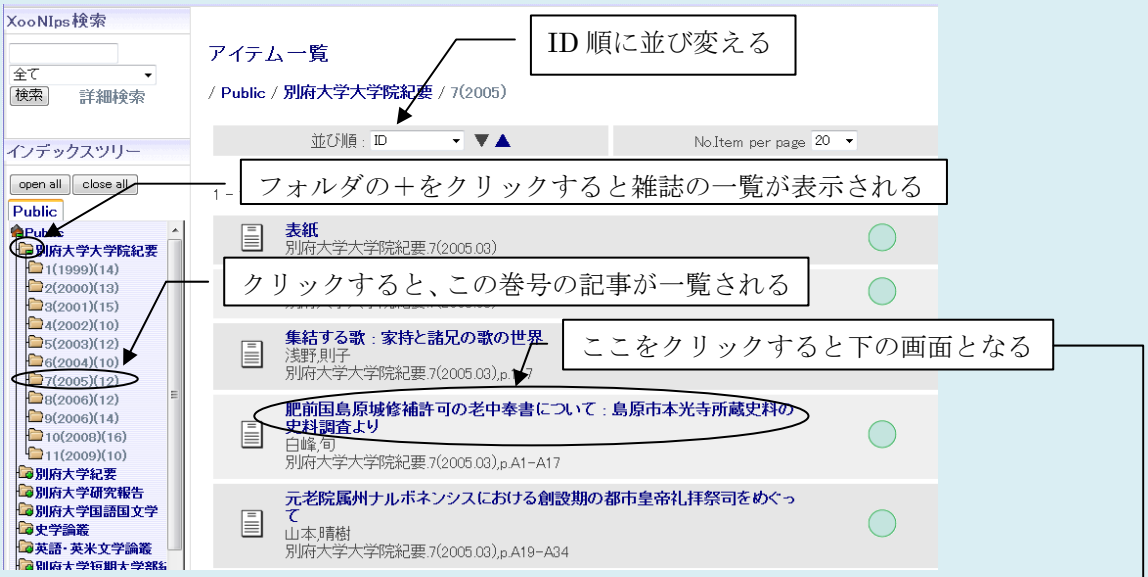
タイトルや著者などの特定項目で検索する。



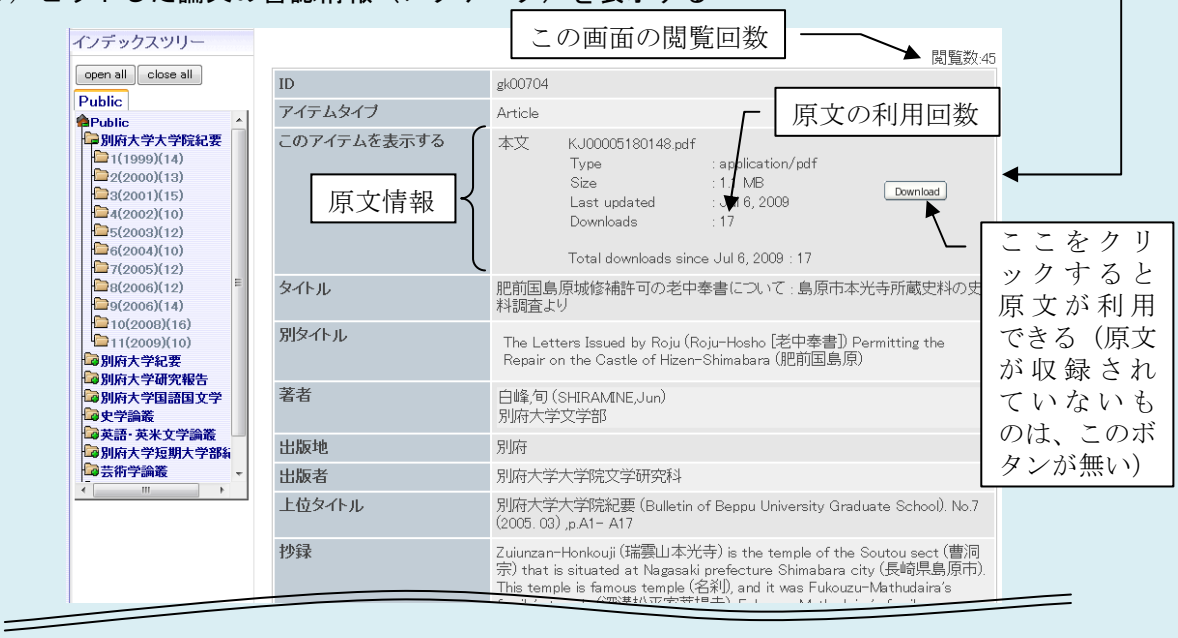


③雑誌名を指定して一覧する

インデックスツリーから、読みたい雑誌を選ぶ。さらに並び順を「ID」にして、記事を雑誌のページ順に並び変える



2）ヒットした論文の書誌情報（メタデータ）を表示する



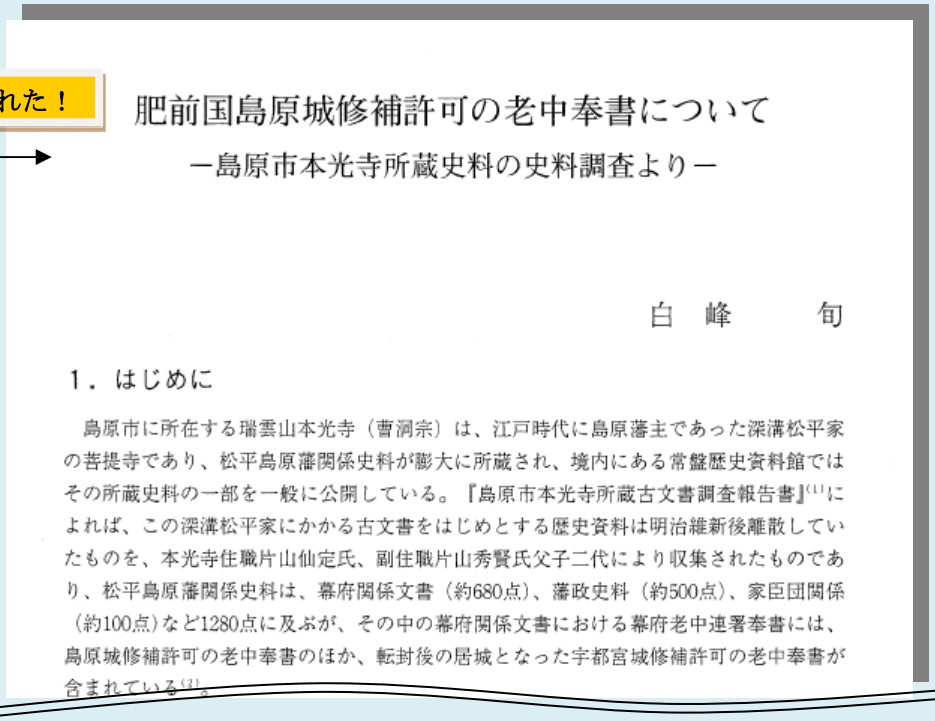
３）原文を表示またはダウンロードする。

前図の「Download」ボタンを押すと、原文を開くか保存するかの選択画面が表示されるので、どちらかを選択する。

PDF 閲覧ソフトが起動し原文が閲覧できる

保存する場所を指定し、.pdf 形式として保存する

原文が表示された！



肥前国島原城修補許可の老中奉書について

―島原市本光寺所蔵史料の史料調査より―

白　峰　　旬

1．はじめに

島原市に所在する瑞雲山本光寺（曹洞宗）は、江戸時代に島原藩主であった深溝松平家の菩提寺であり、松平島原藩関係史料が膨大に所蔵され、境内にある常盤歴史資料館ではその所蔵史料の一部を一般に公開している。『島原市本光寺所蔵古文書調査報告書』(1)によれば、この深溝松平家にかかる古文書をはじめとする歴史資料は明治維新後離散していたものを、本光寺住職片山仙定氏、副住職片山秀賢氏父子二代により収集されたものであり、松平島原藩関係史料は、幕府関係文書（約680点）、藩政史料（約500点）、家臣団関係（約100点）など1280点に及ぶが、その中の幕府関係文書における幕府老中連署奉書には、島原城修補許可の老中奉書のほか、転封後の居城となった宇都宮城修補許可の老中奉書が含まれている(2)。

さあ！これで大学が発信する研究成果があなたのものです。

著作権を守って、これらの情報をご活用ください。

別府大学附属図書館

〒874-8501　大分県別府市北石垣 82

☎　0977-66-9633　Fax 0977-66-9632

e-Mail library@beppu-u.ac.jp

2010 年 2 月 24 日　発行